



# とっぱずれ



銚子東ロータリー・クラブ Weekly Bulletin NO. 2026



黒潮よさこい祭り 提供：宮内 宗一 会員 (7)

第2026回 例会 平成25年10月22日

\*\*\*\*\*

点 鐘 … 宮内 博会長  
 ロータリーソング … 手に手つないで  
 来訪ロータリアン紹介  
     … 親睦活動・家族委員会  
 会長挨拶 … 宮内 博会長  
 御祝披露 … 宮内 博会長  
 誕生祝 … なし  
 結婚記念日 … なし  
 入会記念日 … 杉浦 武 会員(10月17日)

幹事報告 … 釜谷 藤男 幹事

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会  
 卓話  
 「銚子半島マラソンと中学駅伝」  
 銚子市陸上競技協会 会長  
 銚子市体育協会 副会長 滑川 藤彌 氏

出席報告 … 出席・プログラム委員会

### 第4回定例理事役員会 (例会終了後)

来週のプログラム (平成25年10月29日)

\*\*\*\*\*

卓話  
 「R情報」 平野 恭男 会員


お食事「たけみ」



## ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを實踐し みんなに豊かな人生を

2013~2014年度 RI会長 ロンド. バートン



**四つのテスト**

言行はこれに照らしてから

- 1) **真実**かどうか
- 2) **みんなに公平**か
- 3) **好意と友情**を深めるか
- 4) **みんなのためになる**かどうか

第 2025 回例会(平成 25 年 10 月 15 日)

**会長挨拶**

宮内 博

こんにちは。先週は横浜方面への移動例会でしたが、皆さんお疲れ様でした。当日はみんなの行いが良いので台風の影響もなく晴天で初夏のような天気でした。8 時前に銚子を出発し、東京湾アクアラインを通過して途中海ほたるで休憩をとり、最初の訪問先である三菱みなとみらい技術館へは 30 分遅れての到着となり、見学時間が 1 時間の予定が 30 分と短縮になりました。展示内容は家庭のエコから交通システム、海洋、飛行機そしてロケットと幅広く展示してあり三菱重工の企業の巨大さ偉大を感じました。また体験型の展示スペースも多くあり、もう少し時間が欲しかったです。

続いて横浜中華街において昼食をとりました。お店は大珍楼新館というお店で広東料理の中の海鮮飲茶料理がメインで沢山のメニューの中から注文できるオーダー式食べ放題と言うスタイルで、中華街の中堅店では最近普及しているようですが、大珍楼が最初に始めたそうです。味もよく、皆さん大満足でありました。

その後各自、中華街を散策した後、20 分のバスの移動により最後の訪問先の生麦にありますキリンビール工場に到着しました。当日は工場のメンテナンスが行なわれていてビールのパッケージ行程は見学できませんでしたが、笑顔の素敵なガイドさんが説明してくださいました。特に石井さんがガイドさんの事を大変褒めておりました。

見学終了後、ビールの試飲の時間がありまして、まず一杯目は新発売の一番絞りのフローズン生と言う、泡が-5 度で凍結しているビールを試飲しました。泡がシャリシャリしていて不思議な食感でありました。凍った泡が蓋の代わりとなり風味が損なわれず、しかも 30 分間冷たさが持続するそうです。その他のビールも含め、試飲は 3 杯まで出来ましたが、さすがに皆さん 2 杯どまりでした。

その後一路銚子にバスは向かい 7 時前には銚子に帰ってきました。今年の移動例会を振り返りまして、3 箇所訪問してそれぞれのおもてなしの仕方は違いますが、色々参考になりました。職業奉仕の移動例会でありま

すので、皆さんそれぞれ、職業を通して何か感じる所があったのならば移動例会は成功であると思います。

当日は親睦委員会そして職業奉仕委員会の皆さん、大変お世話になりました。有難うございました。

**幹事報告**

- 1・ガバナー事務所より
    - ・公式訪問お礼状
    - ・第 2 回ローターアクト合同会議のご案内
    - ・RI 日本事務局よりのお知らせ
    - ・RLI の問い合わせのご案内 受領
  - 2・2012-13 年度第 7 分区ガバナー補佐栗田壯一様より
    - R 情報・IM 報告書 受領
  - 3・ロータリー米山記念奨学会より
    - ハイライトよねやま 163 受領
  - 4・千葉県立銚子特別支援学校より
    - 銚子洋祭の開催について (御案内) 受領
  - 5・銚子市社会福祉協議会より
    - 市民バザール大会寄附金品について (お礼) 受領
  - 6・例会変更のお知らせ
    - 佐原 RC より
      - 10/17(木) ガバナー公式訪問例会
        - 例会終了後 クラブ協議会 受領
    - 波崎 RC より
      - 10/31(木)→11/1(金) 点鐘 12:30
        - 「鹿島セントラルホテル」
          - ガバナー公式訪問合同例会の為 受領
    - 八日市場 RC より
      - 10/22(火) 点鐘 15:00
        - 「千葉地方裁判所 八日市場支部」
          - 移動例会・職場訪問の為 受領
    - 旭 RC より
      - 10/25(金) 点鐘 18:30 「黄鶴」夜間例会の為 受領
- ☆週報受領 小見川 RC 八日市場 RC

**卓 話**

「林 武 人物ドキュメンタリー『美に生きる』」  
映像作家 堺 敬生 氏

私の映像作品「美に生きる」は、我が国洋画壇の巨匠、そして画人として数少ない文化勲章受賞の洋画家・林 武をテーマとした人間ドキュ



メンタリーです。

林 武は1968年、69年の2度制作のため銚子にやってきました。最初に来銚した時、許しを得て8ミリカメラで、犬吠埼での林 武の制作ぶりを記録しました。

翌69年、林 武が再び来銚子した折、銚子の黒潮美術館が音頭とりで、市内の料理店で林 武画伯歓迎の一席をもうけ、私も参加しました。その席上、前年私が撮った林 武の8ミリ映画を上映したのですが、映画が終ると林 武が私の元にやってきて、いきなり私に手を差しのべながら「いつか誰かがやると思っていたけど、ついに君がやった」と言って握手をしてくれたのです。そして「私は文化勲章受賞ということで、マスコミがたくさん写真を撮っていたが、シネ(映画)を撮った者は居なかった。私は絵になるような顔じゃないが、強いて言えば“目”なんだ。君はその“目”をよく捉えている。今年はどうするのかね」と言うので、「出来たら今年も撮らせていただきたいと思います」と答えると、「よし分かった、君の自由に撮りたまえ」そして更に「出来た作品は作者の満足のいく値で買い上げよう」とまで林 武は言ったのです。

林 武から直々のお墨付きをもらった訳で、張切らざるを得ません。私は以後、林 武が銚子滞在中の20日間、1日も欠かさず毎日50CCバイクで犬吠埼へ通ったのです。その間絶えず頭にあった事は、人間ドキュメンタリーのセオリーの主人公の2面性を描けということでした。林 武の画家の部分については、いい画作りをものに出来たのですが、人間・林 武をどう捉えるかでした。

或る日、昼の食事を犬吠埼灯台前の広場でブルーシートを敷いて、そこにホテルから女性従業員が着物姿で岡持を持って食事を届けに来たのです。岡持には昼飯だけでなく酒の入った徳利と猪口もあって、酒の好きな林 武は食事より酒と、周りに沢山観光客が居るにも拘らず昼ひなたからお酒で1杯となって、しかも、運んで来た女性従業員にお酌をさせるのです。それは、あたかも柳橋の料亭で芸者をはべらせての気分を味わっているかのようで、そのため女性従業員に着物で来るよう、ホテルに申し入れていたのかもしれませんが。いずれにしても、林 武は相好をくずしながら、うまそうに酒を飲むのを見て、これこそ“人間・林 武”だと夢中で8ミリカメラを回したのです。

後日、この時撮影した8ミリフィルムの現像が上がってきて、そのシーンを見た林 武が「これは絶対使っちゃ駄目だよ」と言ったのです。私としては、これこそ絶対使おうと思うシーンなので、「先生は駄目だとおっしゃいますが、駄目な理由をおっしゃって下さい。理由が納得出来れば諦めますが、納得がいかなければ先生がなんと言おうと私は使います。どうぞ駄目な理由をおっしゃ

て下さい」と言うと、林 武はただひと言「女房に悪いから」と答えたのです。それを聞いて私は諦めざるを得ませんでした。

いずれにしても、私が林 武に密着取材して得た8ミリフィルムを基にまとめた作品「美に生きる」が当時(1975年)最も権威あるコンクールといわれた第9回東京国際アマチュア映画コンクールで入賞、文部大臣賞となったのですが、とたんに林 武画伯とあなたは一体どういう間柄なのかと、多くの人に尋ねられました。言われてみれば、確かに林 武は文化勲章まで受章の洋画壇の巨匠。かたや一介のアマチュアシネマンの私であれば、誰しもその関係を聞く気になると思います。その点については、たまたま銚子に来た林 武と、ごく自然にコンタクトがとれ、あとは制作の邪魔をせぬよう、あるいは失礼なことがあつては・・・と、十分気を使いながら撮影取材にあたったわけですが、それにしても林 武は実に自由に撮らせてくれたと思います。それというのも、絵画と8ミリ・・・ジャンルの違いこそあれ、ともにものを創り出す・・・、つまり創造の行為を燃やすといった共通の心意気がどこかに通じ合い、林 武画伯と単なるアマチュアシネマンの私とを結び付けたのではないかと考えています。

コンクールの入賞作品発表映写会と受賞式が1974年11月5日、東京平河町の砂防会館で行われ、その際、林 武自ら祝福のため会場に駆けつけてくれ、私と肩を並べ客席で「美に生きる」を観てくれました。

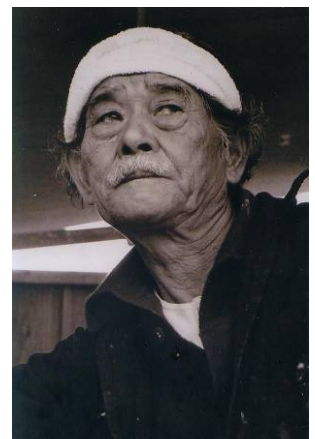
しかしその7ヶ月後の1975年6月23日、林 武は肝腫瘍のため78歳で亡くなりました。したがってこの「美に生きる」は私自身にとって、林 武とのかけがいのない思い出の秘められた作品であると同時に、日本の美術界にとっても大変貴重な作品を残せたのではないかと考えています。

**林 武 氏** (1896年12月10日～1975年6月23日)

日本の洋画家。東京芸大教授。東京都出身。本名は武臣(たけおみ)。

大正末期から画家として活動を始め、戦後には原色を多用し絵具を盛り上げた手法で女性や花、風景などを描き人気を得た。

1967年文化勲章受賞  
代表作「赤富士」「薔薇」等



**ロータリー特別月間**

——ニコニコ——

クラブだけでなく、ロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調するため、国際ロータリー（R I）理事会が指定した月間のことです。

**10月 職業奉仕月間 (Vocational Service Month)**

R I理事会では、一人ひとりのロータリアンだけでなく、クラブも職業奉仕の理想を日常実践するよう強調するために、特に職業奉仕に焦点を絞ったプログラムを行うよう、奨励しています。

クラブに推奨される具体的活動には、

- ①地区レベルの行事で、ロータリーボランティアを表彰すること、
  - ②ロータリー親睦活動への参加を推進すること、
  - ③職業奉仕活動またはプロジェクトを提唱すること、
  - ④空席の職業分類に会員を入会させる会員増強活動、
- があります。

**10月 米山月間 (Yoneyama Month)**

日本独自の強調月間です。クラブはこの月に特に米山奨学事業の意義を深く認識し、寄付金を募る活動をします。そのために米山記念奨学生や地区役員・委員の卓話を聞いたり、さらに奨学生から提供される資料を基にクラブ・フォーラムを開催したりすることが推奨されています。奨学会の目的及び事業・寄付及び表彰制度・奨学生の資格などは米山記念奨学会ホームページを参照ください。

(ロータリージャパンより)

**千葉科学大学RAC例会のお知らせ**

例会日：10月29日（火）点鐘17：00

例会場：マリーナキャンパス 2103 講義室

\*是非ご参加ください。

**職業奉仕委員会 川津光雄委員長**

**親睦活動・家族委員会 宮川雅夫委員長**

移動例会も会員の皆様のご協力を頂き無事終わりました。参加、ご協力ありがとうございました。

**宮内宗一君**

75才よりの高齢者運転免許証、おかげ様で5回目も合格しました。

**前回の例会(10/15)報告**

点 鐘 宮内 博 会長

出席報告

会員総数 42 名 出席規定除外数 8 名

出席者 42 名 出席率 63.16 %

10月1日 確定出席率 81.08 %

来訪ロータリアン なし

欠席者 14名

メイクアップ なし

スモールコインBOX 小 計 ￥ 2,150-

**累 計 ￥ 33,763-**

ニコニコBOX 小 計 ￥ 28,000-

**累 計 ￥164,200-**

銚子東ロータリー・クラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789  
メール [c-higashirc@tcs-net.ne.jp](mailto:c-higashirc@tcs-net.ne.jp) URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 宮内 博 副会長 石井 哲也 幹事 釜谷 藤男

R. I 第2790地区

クラブ広報・会報委員会 宮内 勝利・佐野 幸雄・宮内 宗一・杉浦 武

表紙題字 網中喜一郎初代会長

**ほととぎす 銚子は国の とっばずれ**

**古 帳 庵**

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦（古帳庵 古帳女）が銚子に遊んだときに

詠んだもので、この碑は圓福（円福）寺に現存する。